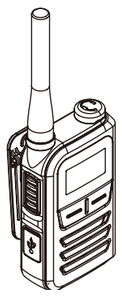
STANDARD

特定小電力トランシーバー

FTH-214

取扱説明書



総務省技術基準適合品

免許不要
単3形電池 1 本動作
直接通話 20CH
防塵防水型 IP55

お買い上げいただき、ありがとうございました。
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、大切に保管してください。
このトランシーバーは国内専用モデルです。
海外では使用できません。

開発製造：バーテックススタンダードLMR合同会社
a Motorola Solutions Company
URL：http://standard-radio.jp

MN006619A01-AD

© 2021 バーテックススタンダードLMR合同会社
無断転載・複写を禁ず

Printed in China

安全上のご注意 ～必ずお読みください～

本機を安全に正しくお使いいただくために、次のことに十分ご注意ください。

⚠ **危険** 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

⚠ **警告** 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ **注意** 誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

🛇 行ってはならない禁止事項です（例：🛇 分解禁止）。

❗ 必ず守っていただきたい注意事項です。

⚠ 危険

- **自動車やバイク等を運転しながら使用しない**
  事故の原因になるだけでなく、道路交通法違反になります。
  運転者が使用するときには、車を安全な場所に止めてから操作してください。
- **航空機内や病院内などの“使用を禁止された区域”では電源を切る**
  電子機器や医療機器に影響を及ぼす場合があります。
- **引火性ガスの発生する場所や高所などの危険な場所で使用しない**
  発火事故や落下事故などの原因になります。
- **電池※が液漏れして皮膚に付着したり、目に入ると危険**
  化学火傷を起こすおそれがあります。電池内部の電解液が漏れて皮膚や衣類に付着した場合は、すぐに大量の水で洗い流して下さい。また、目に入った場合は失明の恐れがありますので、こすらずに大量の水で洗い流し、直ちに医者の診断を受けてください。
- **電池※を火のそばや、炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しない**
  火災・液漏れ・発熱・破裂・発火などの原因になります。
- **電池※を加熱したり，火の中へ投げ込まない**
  液漏れ・発熱・破裂・発火などの原因になります。
- **電池※の端子にはんだ付けやショートをしない**
  線材で配線したりネックレスやヘアピンなどでショートをしないでください。
  液漏れ・発熱・破裂・発火などの原因になります。
- **電池※を分解・改造・破壊しない**
  液漏れ・発熱・破裂・発火などの原因になります。

⚠ 警告

- **分解や改造をしない**
  本機は電波法に基づく無線局です。“証明ラベル”や“製造番号”を剥がしたり、分解や改造をすると違法ですのでおやめください。また、ケガ等の事故や故障の原因になります。
- **FTH-214は“IP55”防塵防噴流の構造になっておりますが、特に海水などがついたときは、蛇口からの水を直接当てたり、高圧洗浄機・エアダスター・スチーム洗浄等を使用せず、洗面器等に真水を入れてなるべく早く洗い流し、柔らかい乾いた布等で拭きとり、十分乾燥させる**
  性能や寿命を低下させる原因になります。
- **周囲温度が極端に高い場所、または極端に低い場所での使用は避ける**
  温度：－10℃ ～ ＋50℃の範囲以内で使用してください。
- **自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない**
  本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。
- **心臓ペースメーカー装着者は使用しない**
  本機からの電波がペースメーカーに影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。
- **電池※は濡れた状態でトランシーバーや充電器に装着しない**
  トランシーバーや充電器の端子に水や海水が付着して故障の原因になります。
- **電池※を電磁調理器等の中や上に置かない**
  電池の液漏れ・発熱・破裂・発火などの原因になります。
- **煙が出ている、変な臭いがするときは電源スイッチを切って、電池※を外す**
  火災や故障の原因になります。お買い上げいただきました販売店に修理をご依頼ください。
- **心臓ペースメーカー装着者に配慮し、人ごみでは電源を切る**
  本機からの電波がペースメーカーに影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。
- **指定の電池以外は使用しない**
  機器の故障だけでなく、電池の液漏れ・発熱・破裂・発火などの原因になります。

⚠ 注意

- **アンテナを折り曲げたり、外したりしない**
  アンテナの変形や破損の原因になります。
- **人の多い場所では使用しない**
  アンテナが他人に当たり、ケガの原因になります。
- **トランシーバーや電池※は強い衝撃を加えたり、投げつけたりしない**
  トランシーバーは破損による故障、電池※は液漏れ・発熱・破裂・発火などの原因になります。
- **長時間ご使用にならない場合には、安全のため電源をオフにし、電池※を外す**
  液漏れ・発熱・発火・電池の性能や寿命を低下させる原因になります。
- **磁気カードなどをトランシーバーに近づけない**
  キャッシュカードやフロッピーディスクなどの内容が消去されることがあります。
- **トランシーバーを直射日光の当たる場所や熱器具の近くに放置しない**
  変形や変色等の原因になります。
- **溶剤（シンナー、ベンジン等）や中性洗剤等でケースを拭かない**
  変形や変色等の原因になります。ケースが汚れた場合には、真水で洗い流し、乾いた柔らかい布できれいに拭き取ってください。
- **小さなお子さまの手の届かない場所に保管する**
  ケガなどの原因になります。
- **指定以外のオプションを使用しない**
  故障や破損の原因になります。
  当社純正品以外のオプションの使用が原因で生じた故障や破損、および事故などの損害については、当社では一切責任を負いません。
- **オプションのマイクロホンを取り付けた際は、コードを強く引き伸ばしたままにしない**
  コードの断線などにより、故障の原因になります。
- **イヤホン等を使用するときは音量を大きくしない**
  聴力障害の原因になることがあります。

※：市販のアルカリ乾電池やオプションのニッケル水素電池（FNB-135）

電磁波による影響

一般的な用途での、規制されていない環境における携帯型トランシーバーの電磁エネルギー被爆および製品の安全性に関するガイド

本機を他の使用者に譲渡する場合には、使用者は、必ず本機の電磁波についての取り扱いが書かれた説明書（本書）を添えてください。

このトランシーバーは、離れた2つの間の通信を提供するため、無線周波数帯の中の電磁エネルギー、すなわち電波を使用しています。無線通信用のエネルギーである高周波エネルギーは、電磁エネルギーの一形態であり、例えば日光やX線もその1つに含まれます。しかしながら、高周波エネルギーは、不適切に使用された場合に生物学的損傷を引き起こす可能性が高い電磁エネルギーと同じように考える必要はありません。（例えば、X線の非常に高いレベルは、組織および遺伝物質を損傷する可能性があります。）

当社のトランシーバーは、以下の高周波エネルギーや電磁エネルギーのガイドラインに準拠しています。

・国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）

無線通信のための高周波エネルギーを安全に使用するため、科学、工学、医学、健康、そして産業分野に詳しい専門家が協力し、国際的な基準を策定しています。この基準はビジネスや一般的に使用される無線設備から放射される電波の推奨される値を提示しています。この値については、保護のため通常かなり余裕をもった値になっています。

すべての当社のトランシーバーは、こうした国際基準の値を満たすように設計、製造、およびテストされています。さらに、トランシーバーの製造業者もトランシーバーを使用されるお客様に安全にお使いいただけるような操作手順をお勧めしています。これらは高周波エネルギーについての知識をお客様にご理解いただき、トランシーバーを安全に使用する方法についての簡単な手順を提供するために非常に重要なことです。

電磁波エネルギー曝露限度（電波が人体に与える影響において、人体が受けても差し支えない限度）について国際基準に準拠するには、以下の手順に従ってください。

- 電磁波エネルギー曝露は、アンテナからの距離の増加と共に減少します。
- 送信している間、人体暴露を与えています。連続送信するなど、50%送信比率を超えないようにしてください。
- トランシーバー本体やアンテナから鼻や唇が2.5cm以上離した状態で、トランシーバーのマイクが顔の前に来るようにして持ちます。アンテナは目から離れた状態にしておく必要があります。
- 当社で指定するアクセサリーをご使用ください。

⚠ 注意

高周波エネルギー曝露は、アンテナからの距離の増加と共に減少します。

- 装着してのご使用について。人体に装着するときは、必ず、当社で指定する本機専用のクリップ、ホルダー、ホルスター、またはケースに装着してお使いください。当社指定品以外のアクセサリーをご使用になると、高周波曝露の限界値を超える曝露レベルになる場合がありますので、必ず指定の装着用アクセサリーをお使いください。
- バッテリー、オーディオアクセサリーについては、必ず当社で指定する付属品または交換用品をお使いください。当社純正・指定品以外のバッテリー、アクセサリー（有線または無線）をご使用になると、適用される高周波曝露に関するガイドライン（ICNIRP）を超える場合があります。

防塵 / 防水構造について

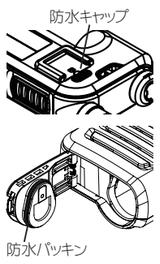
FTH-214のIP規格・保護等級はMIC/SP端子のラバーキャップと電池のフタをしっかり閉めた状態で、IP55※になります。

【防塵について】
IP5X（防塵形）は、動作及び安全性を阻害するほどの粉塵が内部に侵入しないこと。

【防水について】
IPX5（防噴流形）は、あらゆる方向からの噴流水による有害な影響がないこと。
本機の防塵 / 防水性能を末永く確保していただくために、必ずご使用になる前に下記の項目をご確認ください。

■キズ、劣化、外れ、汚れなどの確認

- キーやスイッチ類のラバー
- MIC/SPジャックのキャップ
- 防水キャップ
- 電池を入れる底面フタの防水パッキン



■お手入れのしかた

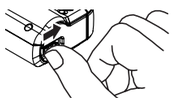
海水・砂・泥などがついたときは、下記の要領で手入れをしてください。

1. 必ずMIC/SPジャックのキャップと電池を入れる底面フタを確実に閉める。
2. 洗面器に真水を入れ、手で少しずつ水をすくい汚れを洗い流す。
3. 乾いた柔らかいきれいな布で水分を拭きとって十分乾燥させる。

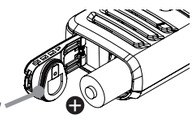
※：IEC（国際電気標準会議）に基づく、粉塵や水の侵入に関する保護等級です。

電池の入れかた

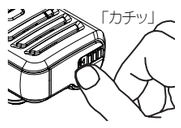
① ロックレバーを矢印方向にスライドし、ロックを解除してフタを開けます。



② オプションのニッケル水素電池（FNB-135）または市販の単3形アルカリ乾電池をマイナス（－）から入れます。
電池の極性（＋）（－）を注意してください。



③ フタを「カチッ」と音がするまで確実に押し込みロックします。

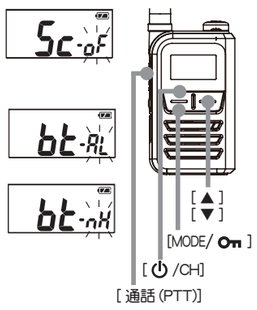


注意 防水性能を維持するため、フタをロックする前に防水パッキンのキズ、劣化、外れ、汚れ等が無いことを確認してください。

バッテリーインジケーターの設定

初期値は市販のアルカリ乾電池を使用する“AL”に設定されています。オプションのニッケル水素電池FNB-135を使用する場合は“nH”に設定します。

① [⏻ /CH]を長押しで電源を切ります。
② [MODE/ ON]を押しながら[⏻ /CH]を長押しで、電源を入れます。
セットメニューの“Sc-xx”が表示されます。
③ [MODE/ ON]を押して、“bt-xx”を選択します。
④ [∧]または[∨]を押して、使用する電池を選択します。
アルカリ乾電池の場合：“AL”
FNB-135の場合：“nH”
⑤ [通話(PTT)]を押します。
設定を確定し、セットメニューを終了します。



電池の使用時間と注意事項

電池の持続時間を延ばすには

使用できる時間の目安は次のとおりです。またスーパーセーブ機能（セットメニュー“bS-xx”参照）を使用すると、さらに電池の持続時間を延ばすことができます。

電池の種類	スーパーセーブ機能 OFF	スーパーセーブ機能 ON
単3形アルカリ乾電池（日本製の場合）	約30時間	約33時間
ニッケル水素電池（FNB-135）	約33時間	約36時間

電池残量アイコン表示					
	まだ使えます。		少なくなりました。		残りわずかです。
	電池を交換してください（FNB-135はすぐに充電してください）。				

補足
○ 10秒送信、10秒受信、80秒待ち受けの測定条件になります。上記の使用時間は目安ですので、実際に使用できる時間は、使い方や周囲の温度などによって異なります。
○ スーパーセーブ機能を使用すると、受信中頭切れを起こすことがあります。

使用上の注意

市販の単3形アルカリ乾電池とオプションのニッケル水素電池（FNB-135）について

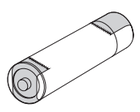
○ 使用せず保管しておくだけでもわずかながら電池の劣化が進みます。
○ 長時間使用しない場合は、ニッケル水素電池（FNB-135）またはアルカリ乾電池を取り外してください。
○ ときどき電池ケースの端子と電池の電極を乾いた布や綿棒で拭いてください。
端子や電極が汚れていると、接触不良となり正しく使用できないばかりではなく、発熱・破裂などの原因になります。
○ 電池を交換するときは、電源を切ってください。
○ ニッケル水素電池（FNB-135）または市販の単3形アルカリ乾電池以外の電池は絶対に使用しないでください。故障や火災の原因になります。

ニッケル水素電池のリサイクルについて

オプションのニッケル水素電池（FNB-135）はリサイクルができます。
ニッケル水素電池が不要になった場合は破棄せずに、全国のリサイクル協力店、協力自治体、リサイクル協力事業者にご相談ください。

Ni-MH

■使用済みニッケル水素電池の取扱注意

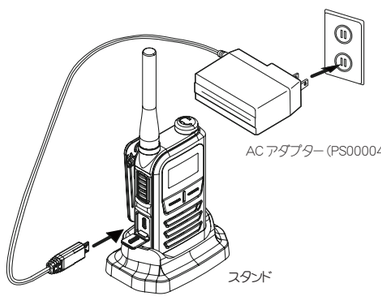


- プラス端子とマイナス端子をセロハンテープやビニールテープ等で絶縁してください。
- 被覆を剥がしたり、分解しないでください。

ニッケル水素電池 FNB-135 の充電方法（充電時間：約3時間）

ニッケル水素電池（FNB-135）ならびに充電用ACアダプター（PS000042A11）は別途お買い求めください。

① FNB-135をマイナス(-)からトランシーバーに入れる。
② トランシーバーの電源を切り、側面にあるUSBキャップを開けて、ACアダプター（PS000042A11）のコネクターを差し込み、スタンドにのせます。
③ ACアダプターの電源プラグを容易にアクセスできるコンセント AC100V に差し込みます。
④ 充電が開始するとLCD右上の電池残量アイコン（▭）がアニメーション動作します。
⑤ 充電が完了するとLCDにFullが表示されます。
⑥ 充電が完了したらトランシーバーからACアダプターを外して、USBキャップは確実に閉めてください。
⑦ ACアダプタをコンセントから外してください。

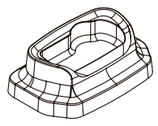


注意
○ 長時間トランシーバーにACアダプターを接続し続けるとFNB-135を劣化させることがあります。
○ 充電中に異常が認められるとLCDにEr（エラー）と表示が出て充電を中止します。
エラーが繰り返される場合はご購入された販売店までご相談ください。

付属品

ご使用になる前に付属品をご確認ください。

・取扱説明書 / 保証書（本書）



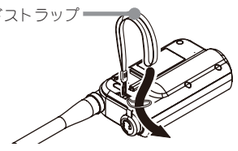
スタンド
（トランシーバーの置台）

運用時のご注意

- 他人の会話を聞いて、これを漏らしたり窃取することは法律で禁止されています。
- このトランシーバーは日本国内専用モデルです。海外では使用できません。
- 防噴流になっておりますが、大量に水がかかる場所や水中での使用は避けてください。
- ご使用になる環境はそれぞれ異なりますので、全ての状態での防水性能を保証するものではありません。

ハンドストラップの取り付け

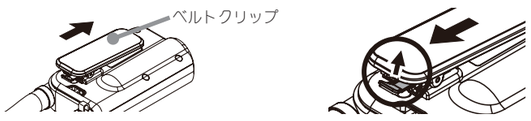
ハンドストラップは必要に応じて下記のように取り付けてください。



補足 丈夫な市販のハンドストラップを使用してください。

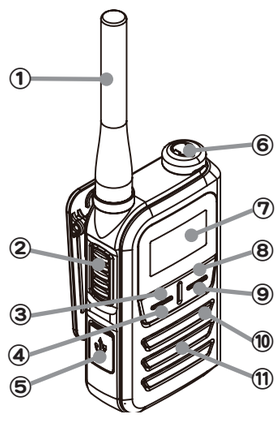
ベルトクリップの取り付け

ベルトクリップをレールにあわせカチッと音がするまで、確実にスライドします。



補足 ベルトクリップを外すときは、指を使わずにドライバー等でロックレバーを上げながらスライドして外します。指を使うと爪をはがしてケガの原因になることがあります。

各部の名前と機能



① **アンテナ**
電波法上、取り外しができない構造になっています。

② **通話（PTT）スイッチ**
押している間は通話、放すと待ち受けの状態になります。

③ **電源（⏻）/CH キー**
短押しで、チャンネル設定モードになります（∨ ∧キーでチャンネルを変更）。
長押しで、電源のON/OFFをします。

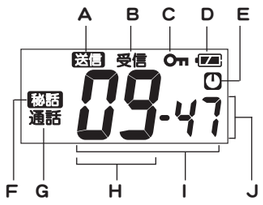
④ **MODE/ ON キー**
短押しで、グループ呼び出しや秘話の設定をします。
長押しで、キーロック（再度長押しで解除）をします。

⑤ **充電端子**
ACアダプター（PS000042A11）を接続して、ニッケル水素電池（FNB-135）を充電します。

⑥ **MIC/SP 端子**
オプションのスピーカー / マイクロホンなどを接続する端子です。

注意 オプションを使用しないときに、キャップをしっかり付けないと防水にはなりません。

⑦ **ディスプレイ**



A. 送信時に表示	F. 秘話モード時に表示
B. 受信時に表示	G. 通話中表示
C. ロック表示 キーをロックしたときに表示	H. チャンネル番号表示
D. 電池残量表示	I. セットメニューの表示
E. オートパワーセーブ表示 オートパワーセーブをONにすると表示	J. グループコード表示

⑧ **∧（アップ）キー**
短押しするたびに、音量が大きくなります。
長押しで、音量が連続で大きくなります。

⑨ **∨（ダウン）キー**
短押しするたびに、音量が小さくなります。
長押しで、音量が連続で小さくなります。

⑩ **マイク**

⑪ **スピーカー**

基本的な通話のしかた（ノーマルモード）

本機には、周囲の状況に応じて選べる3つの通話方法（ノーマルモード、グループモード、秘話モード）があります。

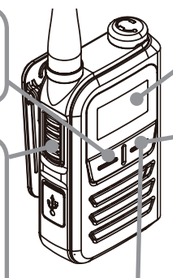
通話のしかたはどのモードでも同じで、ここでは基本となるノーマルモードの通話方法を説明します。

① 電源を入れる
[⏻ /CH]を長押しします。
「ピッ」と音が鳴ります。

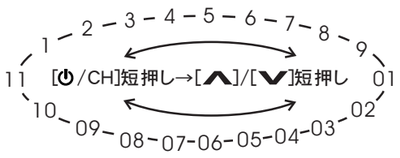
② チャンネルをあわせる
[⏻ /CH]を短押しで、チャンネル設定モードにします。チャンネルが点滅している間に[∧]または[∨]を押して、相手と同じチャンネルにします。

③ 音量を調節する
相手の音声を受信しているときに[∧]または[∨]を押して音量を調節する。

④ 押しながら話す
[通話(PTT)]を押しながらマイクに向かって話す。
・[通話(PTT)]を押すと「ピッ」と音が鳴り、ディスプレイに“送信”と“通話”が点灯してから話をしてください。
・[通話(PTT)]を放すと、待ち受け状態になり相手の音声を聞くことができます。



補足
○ [⏻ /CH]を短押し[∧]または[∨]を押すと、チャンネルは下記のように変わります。



注意
○ 電源を入れるとディスプレイに“Er”（エラー）が表示された場合は、外部マイクロホンが「正しく接続されていない」または「スピーカー（イヤホン）が断線している」可能性があります。
通話する前に「接続したスピーカーマイクロホンやタイピンマイクのねじ込み式プラグが確実に締め付けてあるか」または「スピーカー（イヤホン）が断線していないか」点検をしてください（セットメニュー SP-xx 参照）。

○ 相手の声が途切れて聞こえるときは、モニター機能を使用すると途切れなくなりますなります（“一時的にモニターをする”参照）。
○ 連続して通話できる時間は3分以内で、その間ディスプレイに“**通話**”が点灯します。
3分間連続して通話し続けると、送信は自動的に停止します。
なお、送信が停止する30秒前になると、ディスプレイに数字でカウントダウンが表示され、送信が停止する10秒前には、「ピピピッ」と警告音が鳴ります。
また、送信が停止した場合、その後の2秒間は[通話(PTT)]を押しても「プープープープープープープー」と警告音が鳴り送信できません。
○ 他局の信号を受信しているときは、送信できません。
ディスプレイに“**受信**”が点灯中、[通話(PTT)]を押しても「プープープープー・・・」と警告音が鳴り送信できません。ただし“**通話**”が点灯している間に[通話(PTT)]を押すと送信します。

通話モードの切り替えかた

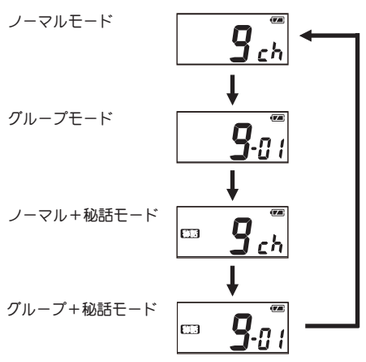
通話を行うモード（通話モード）として、次の3通りの方法があります。
周囲の状況に応じて使い分けてください。

グループモードと秘話モードの詳細は裏面を参照してください。

ノーマルモード ➠ 他のグループの通話が聞こえる心配がないとき。
グループモード ➠ 他のグループの通話が聞こえてわずらわしいとき。
チャンネル番号とグループコードが一致すると通話ができます。
秘話モード ➠ 他の人に通話を聞かれたくないとき。

通話モードを切り替える

[MODE/ ON]を押すたびにモードが切り替わります。
初期値はノーマルモードに設定されています。

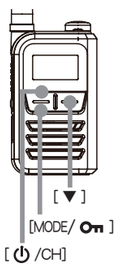


一時的にモニターをする

スケルチ機能をOFFにして、受信信号の状態を一時的にモニターする機能です。

■モニターにする
① [⏻ /CH]を長押しで電源を切ります。
② [∨]を押しながら[⏻ /CH]を長押しで、電源を入れます。

■モニターを解除する
一度電源を切り、再度[⏻ /CH]を長押しで、電源を入れます。



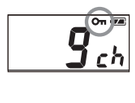
キーをロックする

誤ってキーに触れても設定が変わらないようにすることができます。
ロック中は下記の操作のみ可能です。
・音量調節・通話（PTT）・電源オフ

補足 キーロックと共にディスプレイを非表示にする機能があります。
詳細は裏面記載のセットメニュー「D：キーロック・ディスプレイ非表示設定（hd- xx）」を参照ください。

キーのみロックする

[MODE/ ON]を長押しします。
「ピピッ」と鳴ってキーがロックされ、“ON”が点灯します。



■キーロックを解除する
再度[MODE/ ON]を長押しします。
「ププッ」と鳴ってキーのロックが解除され、Onが消えます。

補足 キーロックの状態で電源を切った場合、キーロックの状態を保持します。

キリトル

STANDARD 保証書 持込修理

お客様の正常な使用状況で万一故障した場合は、「無料修理規定」（裏面参照）により無料修理させていただきます。

お客様へのお願い
お手数ですが、ご住所・お名前・電話番号・トランシーバーの製造番号（本体に記載）をご記入ください。

販売店様へのお願い
お買い上げ日・貴店名・住所・電話番号を記入のうえ、お客様へお渡しください。
※印の欄は、必ずご記入ください。
ご記入の際は、ボールペン等ではっきりと読みやすくご記入ください。

機種名	製造番号（SER NO.）
FTH-214	
※ お買い上げ年月日	年 月 日
保証期間（お買い上げ日より）	1年（本体）

■ 修理はお買い上げの販売店へ必ず本保証書を添えてご依頼ください。
■ 修理・調整には計測器を必要とするため、出張修理は行いません。
■ 本保証書は再発行しませんので、大切に保管してください。

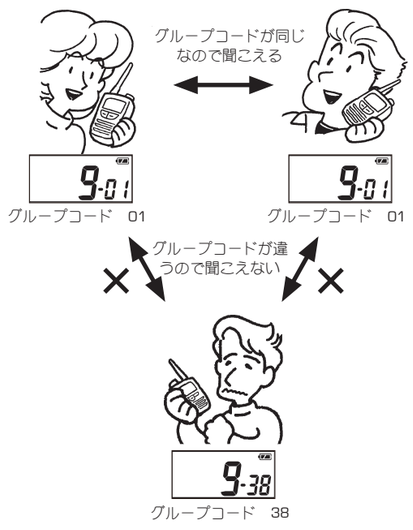
※ お客様記入欄
ご住所 〒
お名前
電話番号

※ 販売店
店名
住所
電話番号

株式会社エクセリ(代理店届出番号C1909977) 東京都墨田区菊川3-17-2アドン菊川ビル4F / 北海道旭川市6条通8-36-25 セントラル旭川7F-G号室 / 大阪府大阪市中央区久太郎町1-9-5本町EASTビル7F URL：https：//www.exseli.com/

グループモード

「同じチャンネルで、他のグループの通話が聞こえてわずらわしい」そんな時に、あらかじめ同じグループコードに設定しておくと仲間同士の音声だけが聞こえます。



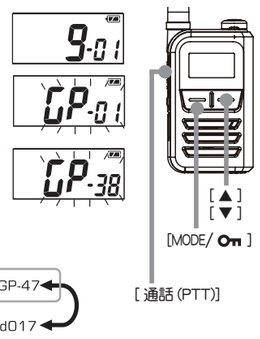
設定のしかた

運用する前に仲間同士で同じグループコードに設定します。
初期値は“01”に設定してあります。

① [MODE/ ⏻] を押してグループモードにします。
現在設定しているグループコードが表示されます。

② [MODE/ ⏻] を押しながら [∧] を押します。
グループコードが点滅します。

③ [∧] または [∨] を押してグループコードを選びます。
GP-01 ～ GP-47（47 通り）から選択します。



グループコード
GP-01 ⟷ GP-02 ・・・ GP-46 ⟷ GP-47
d754 ⟷ d743 ・・・ d023 ⟷ d017

④ [通話 (PTT)] を押します。
設定が終了します。

補足 グループコード（47 種類）が不足した時など、グループコードに替えて、108 種類の DCS コード（d017 ～ d754）を使用することができます。

GP-01 ⟷ GP-02 ・・・ GP-46 ⟷ GP-47
d754 ⟷ d743 ・・・ d023 ⟷ d017
DCSコード

注意 グループコードが 38 通りの旧機種と通話する場合は、GP-1 ～ GP-38 以内で設定してください。それ以外のグループコードを使用すると通話できなくなります。

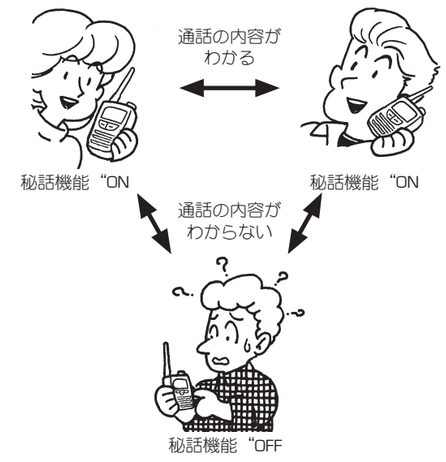
通話のしかた

“基本的な通話のしかた”と同様に行います。

補足 他人の通話が聞こえる場合は、グループコードを変更してください。

秘話モード

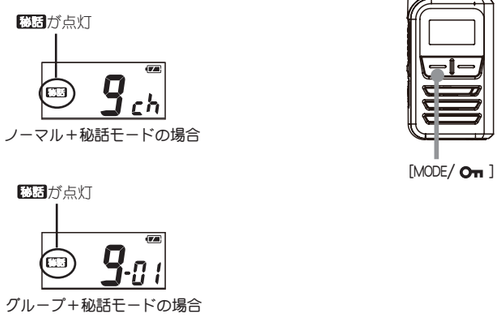
秘話モードに設定していない人は、通話内容を聞き取れなくなります。
秘話モードは、ノーマルモード、グループモードのどちらでも使用することができます。



注意
- ○ 仲間同士以外でも、同じチャンネルで秘話機能を動作させていれば、通話内容を聞かれる場合がありますので、重要な内容の交信は控えるようにしてください。
- ○ 秘話機能付トランシーバーでも、機種が違うと、交信できない場合があります。
- ○ FTH-214/-314/-314L 以外のトランシーバーと通話をすると、音色が異なる場合があります。

秘話モードに切り替える

“秘話”が点灯するまで、[MODE/ ⏻] を何度か押します。



通話のしかた

“基本的な通話のしかた”と同様に行います。

セットメニューで行う機能

セットメニューの一覧表

表示	項　目	設定値※（太字：初期値）	参照
Sc-xx	**スキャン機能** “ALL”に設定すると、自動でチャンネルを切り替えながら信号を探します。信号を受信するとスキャンガー時的に停止し、信号がなくなると、約 10 秒後に再びスキャンを開始します。	**OFF**/ALL	A
bP-xx	**ビープ音の ON/OFF** キーやスイッチを押したときに、確認音として電子音が鳴ります。ビープ音が耳障りなときは OFF に設定してください。	**ON**/OFF	–
tb-xx	**送信ビープ音の ON/OFF** “ON”に設定すると、[通話 (PTT)] を押して送信を始めた際に電子音が鳴り、送信状態になったことを音で確認することができます。また、“ON”に設定することで「tt」の項目が追加されます。	**OFF**/ON	–
tt-xx	**送信ビープ音の音量調整** dF は音量と「tb」のビープ音を連動で音量ツマミにて調整します。1～ 15 に設定すると音量ツマミに関係なく設定された音量でビープが鳴ります。数字が大きくなるほど音量が大きくなります。	**dF**/1 ～ 15	–
LP-xx	**照明ランプの設定** キーを押したとき 2 秒間ディスプレイの照明が点灯します。“OFF”にすると照明は常時消灯します。	**2**/OFF	–
AP-xx	**オートパワーセーブの設定** “ON”に設定するとディスプレイに ⏻ が点灯し、2時間何も操作しないと電源の切り忘れとみなし、自動的に電源を OFF にします。1 分前に「ププッ」と警告音が鳴り、電源が切れます。	**OFF**/ON	–
EG-xx	**外部マイク感度の設定** 外部マイクの感度を調整します。数字が大きくなるほど感度は上がります。“AU”は音声の大小に応じて自動で適切な感度を調整します。MH-66F4B 使用時は“1”に設定してください。	1/**2**/3/AU	B
IG-xx	**内部マイク感度の設定** 内部マイクの感度を調節します。数字が大きくなるほど感度は上がります。“AU”は音声の大小に応じて自動で適切な感度を調整します。	1/**2**/3/AU	B
cP-xx	**コンパンダー機能** “ON”に設定すると、相手が話しているときに聞こえる「サー」というバックノイズを軽減し、相手の音声を聞き取りやすくします。 **補足**：相手のトランシーバーも、コンパンダー機能を ON に設定してください。	**OFF**/ON	–
tP-xx	**送信禁止機能** “ON”に設定すると、[通話 (PTT)] を押しても「ブーブー・・・」と警告音が鳴り、ディスプレイに **“Err”** と表示されて送信できません。受信専用で使用するときに設定します。	**OFF**/ON	–
Ph-xx	**PTT ホールド機能** [通話 (PTT)] を押している間送信し、放すと待ち受けの状態になります。 “ON”に設定すると [通話 (PTT)] を一度押すと連続送信状態（最大3分間）となり、もう一度押すと待ち受けの状態に戻るホールド機能付き PTT スイッチとして動作します（外部マイクの [通話 (PTT)] では、この機能は動作しません）。 **補足**：送信が 2 分 30 秒経過するとディスプレイにカウントダウンを開始して、10 秒前に「ピピピッ」と予告音が鳴り、3 分経過すると待ち受けに戻り約 2 秒間「プープープープッ」と警告音が鳴り送信できません。送信したい場合は、警告音が鳴り終わってから [通話 (PTT)] を押してください。 [MODE] を押しながら [通話 (PTT)] を押すと、自動送信復帰機能が動作します。基本動作は補足文記載内容と同様ですが、連続送信が3分経過すると一旦待ち受け状態になり、そのチャンネルで他に使用者がいなければ、約2秒後に自動で送信状態に戻ります。この動作を自動で繰り返します。自動送信復帰機能が動作しているときには、通話アイコンが点滅しています。	**OFF**/ON	C
hE-xx	**音質切替え機能** 高域をカットした音声のみを強調した音質で受信します。 相手がバックノイズの多い場所などで運用しているときに効果を発揮します。“1”に設定すると、高域が効いたメリハリのある音質で受信します。	1/**2**	–
Sq-xx	**スケルチレベルの調整** 信号が入感していないときに出る、耳障りなノイズ（「ザーッ」音）を消すことができます。数字が大きいほどレベルが高くなります。 **補足**：スケルチレベルを上げすぎるとノイズは消えやすくなりますが、弱い電波が入感しなくなることがありますので、必要に応じて調節してください。	**1** ～ 4	–
SP-xx	**イヤホン断線チェック** 接続しているオプションのスピーカーマイクロホンやタイピンマイクのスピーカー（またはイヤホン）が断線している場合、本機の電源を入れたときに **“Er”** とディスプレイに表示し警告します。	OFF/**ON**	–
bS-xx	**スーパーセーブ機能の設定** “ON”に設定すると、待ち受け状態で約2秒間キー操作がないと電池パックの消耗を防ぐ機能が動作します。信号を受信時またはキー操作を行うとセーブ機能は解除されます。 **補足**：“ON”に設定すると、受信中頭切れを起こすことがあります。	**OFF**/ON	表面
bt-xx	**バッテリーインジケーターの設定** 初期値は市販のアルカリ乾電池を使用する“AL”に設定されています。オプションの FNB-135 を使用する場合は“nH”に設定します。	**AL**/nH	表面
hd-xx	**キーロック・ディスプレイ非表示設定** “ON”に設定すると、ロックキーを押したとき、キーロックと共にディスプレイを非表示にすることができます。	**OFF**/ON	D
cL-xx	**クローン機能** 送り側に設定してある内容をワイヤレスで複数台一斉にコピーすることができます。	**OFF**/ON	E

※：設定値ディスプレイ表示“OFF”→“oF”，“ON”→“on”，“ALL”→“AL”

セットメニューの操作

各セット メニューの設定を変更するときは次の手順で行います。

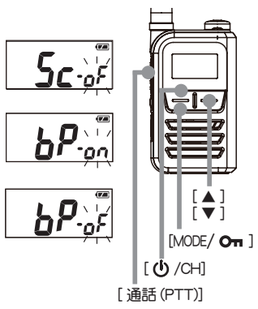
① [⏻ /CH] を長押しして電源を切ります。

② [MODE/ ⏻] を押しながら [⏻ /CH] を長押しで、電源を入れます。
セットメニューの“Sc-xx”が表示されます。

③ [MODE/ ⏻] を押すたびに、セットメニューの項目が切り替わります。
設定したいメニューを選択します。
例：“bP-xx”を選択
[⏻ /CH] を押すたびに、セットメニューの項目が後退します。

④ [∧] または [∨] を押して、点滅している設定値を選択します。

⑤ [通話 (PTT)] を押します。
設定を確定し、セット メニューを終了します。



A：スキャン機能（Sc- xx）～受信信号を探す～

自動でチャンネルを切り替えながら信号を探す機能です。信号を受信するとスキャンガー一時的に停止し、信号がなくなると、約 10 秒後に再びスキャンを開始します。

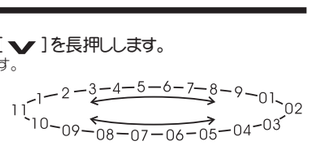
スキャン機能を使用する場合は、あらかじめ下記のセットメニュー（Sc）で“AL”を設定します。

oF（初期値）	スキャン機能を OFF にします。
AL	全チャンネルをスキャンします。

スキャン機能を使用する

スキャンを開始する

[⏻ /CH] を短押し後、[∧] または [∨] を長押しします。
チャンネルをスキャンすることができます。



スキャン方向を変更する

スキャン中に [∧] または [∨] を押します。
スキャン方向を変えることができます。

スキャンを停止する

[MODE/ ⏻] または [通話 (PTT)] を押します。

B：マイク感度の設定（EG- xx /IG- xx）～外部マイク / 内部マイクの感動を設定する～

外部マイク感度の設定（EG-xx）

外部マイクのマイク感度を設定します。MH-66F4B 使用時は　1”に設定してください。

1	外部マイクの感度 - 小
2（初期値）	外部マイクの感度 - 標準
3	外部マイクの感度 - 大
AU	音声の大小に応じて自動で適切な感度を調整します。

内部マイク感度の設定（IG-xx）

トランシーバー本体に内蔵してあるマイクの感度を設定します。

1	内部マイクの感度 - 小
2（初期値）	内部マイクの感度 - 標準
3	内部マイクの感度 - 大
AU	音声の大小に応じて自動で適切な感度を調整します。

C：PTT ホールド機能（Ph- xx）～[通話 (PTT)] スイッチの動作を設定する～

[通話 (PTT)] スイッチを押したときの動作を設定します。

oF（初期値）	[通話 (PTT)] を押している間送信し、放すと待ち受けの状態になります。
on	[通話 (PTT)] を一度押すと連続送信状態（最大3分間）となり、もう一度押すと待ち受けの状態に戻るホールド機能付き PTT スイッチとして動作します（外部マイクの [通話 (PTT)] では、この機能は動作しません）。 **補足**：送信が 2 分 30 秒経過するとディスプレイにカウントダウンを開始して、10 秒前に「ピピピッ」と予告音が鳴り、3 分経過すると待ち受けに戻り約 2 秒間「プープープープッ」と警告音が鳴り送信できません。送信したい場合は、警告音が鳴り終わってから [通話 (PTT)] を押してください。 [MODE/ ⏻] を押しながら [通話 (PTT)] を押すと、自動送信復帰機能が動作します。 基本動作は補足文記載内容と同様ですが、連続送信が3分経過すると一旦待ち受け状態になり、そのチャンネルで他に使用者がいなければ、約2秒後に自動で送信状態に戻ります。この動作を自動で繰り返します。自動送信復帰機能が動作しているときには、通話アイコンが点滅しています。

D：キーロック・ディスプレイ非表示設定（hd- xx）～キーロックと共にディスプレイを非表示にする～

あらかじめセットメニューの“hd-xx”を“ON”に設定します。
[MODE/ ⏻] を長押ししたときに、キーロックと共にディスプレイを非表示にすることができます。再度 [MODE/ ⏻] を長押しすると解除されます。

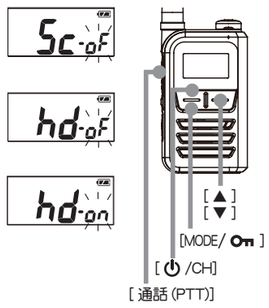
① [⏻ /CH] を長押しで電源を切ります。

② [MODE/ ⏻] を押しながら [⏻ /CH] を長押しで、電源を入れます。
セットメニューの“Sc-xx”が表示されます。

③ [MODE/ ⏻] を押して、“hd-xx”を選択します。

④ [∧] または [∨] を押して、“ON”に選択します。

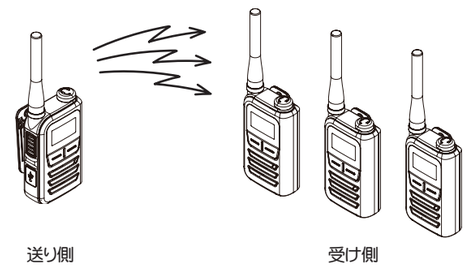
⑤ [通話 (PTT)] を押します。
設定を確定し、セット メニューを終了します。



E：クローン機能（cL-xx）～同じ設定に複製する～

送り側に設定してある内容をワイヤレスで複数台一斉にコピーすることができます。

コピーできる設定内容は下記のようになります。
- ◎ 現在設定しているチャンネル / グループコード /DCS コード
- ◎ 現在設定している通話モード（ノーマル / グループ / 秘話）
- ◎ セットメニューの設定内容



注意
- ○ 雑音の多い場所でクローン機能を行うと正常にコピーできない場合があります。
- ○ 送り側と受け側を 1 m以内に近づけた状態で、クローンを行ってください。
- ○ クローン機能は FTH-214 同士のみ使用することができます。

クローン機能を設定する

1　受け側を設定する

セットメニュー（cL-xx）でクローン機能を“ON”に設定します。

oF（初期値）	クローン機能を OFF にします。
on	クローン機能を ON にします。 ディスプレイに“CCcL”が表示されます。

2　送り側を設定する

① 受け側と同様、セットメニュー（cL-xx）でクローン機能を“ON”に設定します。

② [通話 (PTT)] を押します。
データーが送出されます。

補足
- ○ 受け側は正常にコピーされると「ピッ」と音がして、コピーされたチャンネルをディスプレイに表示します。
- ○ “CCcL”のまま変化しない場合は、再度 [通話 (PTT)] を押すと送り側からデーターが送出されます。

③ [⏻ /CH] を長押しで電源を切ります。
セット メニューの設定を終了します。受け側も電源を切ります。

補足 電源を OFF にすることで、クローン機能は OFF になりますので、セットメニューで OFF にする必要はありません。

キリトル

《 無料修理規定 》

1. 取扱説明書、本体貼り付けラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合は、保証期間内（お買い上げ日より 1 年間）無料修理をさせていただきます。
2. 保証期間内に無料修理をご依頼される場合は、お買い上げの販売店へ製品と本保証書をご持参・ご提示の上、お申し付けください。
3. 保証期間内であっても、次の場合には有料となります。
   (1) 本保証書のご提示がない場合。
   (2) 本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記入がない場合。
   (3) 使用上の誤り、不当な修理・調整・改造による故障およびそれらが原因により生じた故障、または故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
   (4) お買い上げ後の取付場所の移動・輸送・落下等による故障および損傷。
   (5) 火災・地震・風水害・落雷・その他の天変地異・異常電圧などによる故障および損傷。
   (6) 他の要因（アンテナの不備・電波障害・設置場所など）により正常に動作しない場合。
   (7) 消耗部品（バッテリーなど）に関するものの交換。
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
   (This warranty is valid only in Japan.)

● この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがいまして、この保証書によってお客様の法律上の権限を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理メモ

開発製造：バーテックススタンダード LMR 合同会社
a Motorola Solutions Company

お客様の個人情報保護について
お客様のお名前・ご住所・電話番号などの個人情報を第三者に開示、または提供することは一切ありません。
お客様の情報は今後、当社の顧客管理のみに使用させていただきます。

正常に動かないとき　～ファクトリーリセット～

スイッチを押しても反応しないときや、『故障かな？と思うまえに...』の項目に従って点検しても正常に動作しないときは、次の操作を行ってください。

ファクトリーリセットを行うと、登録した内容はすべて消され、工場出荷時の“初期値”に戻ります。

① 一度、[⏻ /CH] を長押しで電源を切ります。

② [∧]、[∨]、[MODE/ ⏻] を押しながら [⏻ /CH] を長押しで、電源を入れます。
ディスプレイに“Fr”が表示されます。

③ [通話 (PTT)] を押します。
工場出荷時の“初期値”に戻ります。

キー操作早見表

スイッチ / キー	動作
[⏻ /CH]	短押し：チャンネル設定（∧∨短押し） 長押し：電源の ON / OFF
[MODE/ ⏻]	短押し：通話モードの切り替え（グループ / DCS、秘話） 長押し：キーロック
∧	短押し：ワンステップ音量大 長押し：押している間音量大
∨	短押し：ワンステップ音量小 長押し：押している間音量小
[MODE/ ⏻]（押しながら）→∧	グループ / DCS モードの設定
[MODE/ ⏻]（押しながら）→ [⏻ /CH]	セットメニューの操作
∨（押しながら）→ [⏻ /CH]	モニター機能
∧ ＋ ∨ ＋ [MODE/ ⏻]（押しながら）→ [⏻ /CH]	ファクトリーリセット

故障かな? と思うまえに...

間違った操作をしていませんか?
修理を依頼される前に、ちょっとお確かめください。

◎ 電源が入らない!
- ・ 電池は正しく取り付けてありますか? 電池の極性（＋）(－）をご確認ください。
- ・ 電池は消耗していませんか?
- ・ オプションのニッケル水素電池 (FNB-135) は十分に充電してありますか?

◎ 電源を入れるとディスプレイに“Er”と表示する!
- ・ 接続しているオプションのスピーカーマイクロホンやタイピンマイクのスピーカー（イヤホン）が断線している。または、ねじ込み式プラグが確実に締め付けていない可能性があります。

◎ 送信できない!
- ・ 通話 (PTT) スイッチを正しく押していますか?
- ・ セットメニューの送信禁止機能（tP）が ON になっていませんか?
  ディスプレイに“Err”と表示されて送信できません。
- ・ 相手が話し中ではありませんか?“受信”が点灯しているときは、送信できません。
- ・ 外部マイク使用の場合、きちんと緩みなく接続されていますか?

◎ 通話できない!
- ・ 相手と同じ通話モード（ノーマルモード・グループモード・秘話モード）に設定していますか?
- ・ 相手と同じチャンネルに設定していますか?
- ・ 相手と同じグループコード（または DCS コード）に設定していますか?
- ・ 相手との距離が離れすぎていませんか?

◎ 勝手に電源が切れる!
- ・ セットメニューのオートパワーセーブ機能（AP）が ON になっていませんか?
  2時間何も操作しないと電源の切り忘れとみなし、自動的に電源が OFF になります。
- ・ 電池が消耗していませんか?
- ・ オプションのニッケル水素電池 (FNB-135) は十分に充電してありますか?

◎ グループモードで運用中に他の人の通話が聞こえる!
- ・ モニター機能になっていませんか? 電源を切り、再度電源を入れると解除されます。
- ・ 他の人も同じグループコードや DCS コードを使用している場合があります。
  グループコードまたは、DCS コードを変えてください。

オプション一覧表

品 名	型 番
防浸型スピーカーマイク	MH-66F4B※
タイピン型イヤホンマイク	MH-62A4B※
イヤーピースマイク	MH-89A4B※
イヤホンアダプター	CT-101※
アンテナバンド（赤色）12 個入り	S8003159
アンテナバンド（青色）12 個入り	S8003161
アンテナバンド（黄色）12 個入り	S8003163
アンテナバンド（橙色）12 個入り	S8003165
アンテナバンド（緑色）12 個入り	S8003167
ニッケル水素電池	FNB-135
充電用 AC アダプター	PS000042A11

※：ねじ込み式の防水プラグを使用しているため、確実に締め付けてご使用ください。

注意 締め込みが不十分な場合、接触不良を起こし通話できないことがあります。また、防水性能を確保することもできません。

カタログ及びその他の最新情報はホームページ http://www.standard-radio.jp を参照してください。

定 格

送受信周波数：　1ch ～ 9ch:422.2000MHz ～ 422.3000MHz
（12.5kHz ステップ）　01ch ～ 11ch:422.0500MHz ～ 422.1750MHz
電 波 型 式：　F3E / F2D
通 信 方 式：　単信
送 信 出 力：　10mW 以下（電波法施行規則第6条適合）
受 信 感 度：　－ 10dBμV 以下（@ 12dB SINAD）
低周波出力：　60mW 以上（@ 4 Ω、60mW 時歪率 10% 以下）、電源電圧 1.5V 時
動作温度範囲：　－ 10℃～＋ 50℃
定 格 電 圧：　DC 1.2V
動作電圧範囲：　DC 1.0V ～ 1.7V
本 体 寸 法：　50.0 × 83.0 × 27.1mm（幅×高さ×奥行き：アンテナおよび突起部を含まず）
本 体 重 量：　約 90g（ベルトクリップおよび電池を含まず）

RoHS 指令準拠
この定格は性能向上のため予告なく変更することがあります

株式会社エクセリ(代理店届出番号C1909977)　東京都墨田区菊川3-17-2アドン菊川ビル4F / 北海道旭川市6条通8-36-25 セントラル旭川7F-G号室 / 大阪府大阪市中央区久太郎町1-9-5本町EASTビル7F URL：https：//www.exseli.com/